

ふくちやまし

議会だより

2023
11



福知山城

福知山市イメージキャラクター
ドッコちゃん

■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■令和5年11月発行 No.142



甘くておいしい丹波栗
地元の秋の味覚を楽しみましょう

予算審査委員会の議第36号に対する付帯決議(抜粋)

- 1 新文化ホール事業運営計画支援業務においては、市民の意見聴取など対話しやすい環境を整備すること。
- 2 新文化ホール基本設計業務においては、基本設計の作業段階で、市民参加と意見を聴取する機会を設け、柔軟に意見を取り入れること。
- 3 将来の福知山市の財政負担を加味しながら事業を進めること。
- 4 市民が新文化ホールの計画進捗状況について容易に知ることができるようわかりやすい情報発信に努めること。
- 5 用地も含め事業進捗の節目には、議会に対して丁寧な説明を行うこと。

台風7号災害関連補正予算を可決、
新文化ホール計画補正予算を
付帯決議とともに可決

..... 3・10・11

ここが聞きたい！
一般質問 各会派から
18議員が登壇

..... 12～21

市議会ホームページの
アクセスはこちらから



台風7号災害関連、原油価格・物価高騰緊急対策などの補正予算を可決!

～新文化ホール関連予算は、市民との対話の継続を求める付帯決議とともに可決～

◇令和4年度の15会計の歳入歳出決算を可決および認定!

◇「小・中学校給食費無償化を推進するための財政措置を求める意見書」を国に提出

8月30日から10月30日までの62日間にわたって9月定例会を開催しました。

この定例会では、台風7号災害復旧・生活支援、また新文化ホール計画策定事業、原油価格・物価高騰緊急対策などの補正予算、改修後の三和荘施設条例の制定、人事案件など、21議案が市長から提案され、いずれも原案どおり可決・承認・同意しました。

さらに、令和4年度決算の認定等については、決算審査委員会において、9月25日～27日に所属別質疑、10月5日に総括質疑、6日に自由討議などを行い、10月30日に全議案可決および認定しました。また、本定例会の一般質問は、9月8日、11日、12日の3日間で行われ、18人の議員が質問を行いました。(質問内容はP12～21をご覧ください)

請願については、4件が提出され、2件が採択となりました。なお、9月11日の本会議では、ステップあけぼの福知山支部の皆さんが35人傍聴されました。

9月定例会で決まった主な案件

一般会計補正予算

(万円未満切捨)

- ◇台風7号災害救助(災害援護資金貸付・災害見舞金) 2335万円
- ◇台風7号災害復旧(道路等の土砂撤去、農林業・中小企業への支援、災害廃棄物処理等) 7億4902万円
- ◇ふくちやま応援プレミアムポイント事業(原油価格や物価高騰の影響を支援) 1億9150万円
- ◇新文化ホール計画策定事業(整備のための検討委員会などの経費) 176万円
- ◇〃(基本設計および支援業務を令和5・6年度に行うための債務負担行為限度額の設定) 1億4238万円
- ◇専決処分の承認(台風7号共助による土砂撤去・被災住宅応急修理) 4049万円

条例の一部改正

- ◇職員定数条例の一部改正(消防機能の強化のため増員)
- ◇三和荘施設条例の制定(改修後の三和荘の設置) など

令和4年度一般会計・特別会計・企業会計決算の可決および認定

その他

- ◇工事請負契約の締結(桃映地域公民館新築工事、六人部地域公民館・体育館大規模改修工事)

人事議案

- 人権擁護委員の候補者の推薦(2人)

採択した請願

- 「国に対して小・中学校給食費無償化するための財政措置を求める意見書の提出を求める請願」
- 「患者・利用者のいのち・暮らしを支えるケア労働者の賃金改善と人員増のため診療報酬・介護報酬・障害報酬を引き上げるよう国に求める意見書提出に関する請願」

意見書

- 「小・中学校給食費無償化を推進するための財政措置を求める意見書」

令和5年度補正予算審査

補正予算の主な審査内容を掲載します。

予算額 98万円

台風7号被害の農業施設復旧事業

野菜、果樹、花き栽培、水稻育苗用の被災パイプハウスに対し、復旧費用の10分の6（条件により、一部10分の8）を上限として支援



Q 撤去の補助として1㎡あたり290円は妥当か。

本年1月の大雪災害のときと同額であり、京都府の事業も同様であることから設定したもの。

農林業振興課

予算額 176万円

債務負担行為 1億4,238万円

新文化ホールの建設に向けて

新文化ホールの事業運営などの検討費用と合わせ令和6年度分の基本設計などの委託料を予算化（※債務負担行為とは：次年度以降の債務をあらかじめ約束することを予算で決めておくこと）



Q 基本設計業務の発注時期は。

基本計画が策定されて一定の方向性が整理されたので、令和5年度内に基本設計業務を発注したい。

※付帯決議については11ページに掲載

文化・スポーツ振興課

予算額 9,460万円

台風7号被害の廃棄物処理事業



台風7号災害により発生した災害廃棄物を迅速・適正に処理することにより市民生活の早期復旧を支援

Q 該当する全壊家屋の件数と補助適用条件、および今後のスケジュールは。

条件は現住家となっており、件数は8件。対象者への説明はおおむね9月、10月に行い、処分解体は来年1月から3月になると考えている。

生活環境課

予算額 1億9,150万円

プレミアム率25%「ふくぽ」

令和6年2月末まで、「ふくぽ」によるプレミアム率25%のデジタル商品券を販売
購入金額上限1人3万円
(3万円+プレミアム分上乘せ7,500円=37,500円)



昨年度の産業フェアの様様

Q 1世帯で複数のスマートフォン所有の場合の対応は。

スマートフォン1台ごとに登録可能である。また、スマートフォンを所有されていない方には、申請により、別に二次元コードを記載したカードを発行する。

産業観光課

決算額 5,999万6,898円

消防車両更新事業

各種災害に的確・迅速に対処するため、消防団の老朽化した小型動力ポンプ付き積載車と高規格救急自動車を更新整備



Q 車両更新に当たり、国・京都府の補助の採択基準は。

国の補助は、緊急消防援助隊車両として登録するものと防衛施設を管轄する車両の更新に対する補助の2つがあり、府の補助は、地域防災力総合支援整備事業補助金を活用して更新している。



消防課

決算額 2,910万8,296円

保育士確保対策事業

保育人材の確保のための事業

- (1) 保育士定着支援金事業
- (2) 保育士宿舍借り上げ支援事業
- (3) 保育補助者雇上強化事業
- (4) 保育体制強化事業
- (5) 保育士育成修学資金貸与事業
- (6) 若手保育士巡回アドバイザーの配置
- (7) 公立保育園の就労環境対策



Q 保育士確保は喫緊の課題であるが、令和4年度の成果と課題は。

保育士定着支援金事業については、15人と大きく拡大した。また、保育士育成修学資金貸与事業についても12人となり、今後成果が見込まれる。しかし、保育体制強化事業は雇用が4人と十分とはいえず、宿舍借り上げ支援についても、現在1園のみの支援となっており、今後も拡大させる必要がある。



子ども政策室

令和4年度決算審査

令和4年度 予算執行を 委員会で審査

延べ53人
213項目

決算審査委員会
録画配信は
こちらから



決算額 3,580万7,127円

福知山PR戦略総合推進事業

シビックプライドの醸成を目的に、「光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動



Q 事業効果が高いという評価であるが、次年度に継続していく妥当性は。

市の特徴的な政策や市独自の地域資源を活用して情報発信していくことで市の魅力を発信し、イメージ向上や認知獲得を目的として次年度以降も進めていきたい。



秘書広報課

決算額 1億7,892万3,514円

放課後児童クラブ運営事業

放課後や学校休業日に安心して遊びや生活ができる場を提供して、保護者の就労と子育ての両立を支援する事業



Q 令和3年度、4年度と執行額が増加、また、5年度にも予算が大幅に増えている理由は。

令和3年度の指導員の時間単価が961円であったものが、令和4年10月に最低賃金の上昇で、992円となり、さらに令和5年4月に給与形態の変更により1,138円となり、大幅に人件費が増えたことが要因である。



生涯学習課

決算額 15億1,708万3,459円

生活保護扶助事業

生活に困窮する市民などに対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を支援する事業

活動実績	令和3年	令和4年
訪問活動数	525件	1,402件
被保護世帯数	713世帯	688世帯

Q 訪問活動数は令和3年度より大幅に増えているが、被保護世帯数が減っている理由は。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、電話等により生活状況を聞き取っていたが、令和4年度は、訪問活動が再開できたために活動数が大幅に増えている。また、福知山市の生活保護世帯は高齢世帯が多いため自然減が多いこと、また貸付金等のコロナ感染症対策が機能したことで、被保護世帯数は全体で若干減っている。



社会福祉課

決算額 2,792万8,451円

地域づくり組織支援事業

地域づくり組織の運営に対する交付金

交付先	交付額
三和地域協議会	880万円
夜久野みらいづくり協議会	617万円
大江まちづくり住民協議会	900万円
中六人部地域づくり協議会	362万円

Q 4団体へ計2,759万円の交付額となっているが、その算出基準は。

金額の算定方法については、これまでの平均的な事務局の運営経費や活動経費を積み上げて計算しており、旧3町については広域であることを加味して、旧3町以外については、世帯規模に応じた係数をかけて、それぞれ上限を設定している。



まちづくり推進課

決算額 70万2,319円

性の多様性推進事業

すべての人が多様な生き方ができる福知山市をめざし、「福知山市みんなの多様な性を尊重する条例」を令和4年4月1日に制定



Q 予算執行率が25.2%と事業が低調となった理由は。

啓発物品の配布やライトアップを行ったが、性の多様性についてはセンシティブな課題を含むという意見があり、当初の著名人による大規模な講演会の開催から、出前講座などを中心とした少人数での事業内容に変更したことで執行率が低くなったものである。



人権推進室

決算額 1億7,595万444円

石原土地区画整理事業地の販売促進

12区画と大きく売却が進んだ



Q 売却が進んだ要因と残りの区画数は。

要因としては、令和2年度に行った価格改定と由良川堤防の完成が主な要因だと考えている。販売区画数の残りは、大規模区画を含め18区画となっている。



都市・交通課

当年度純利益 5,816万5,669円

病床数が減少した大江病院

令和4年度に地域包括ケア病床と療養病床の1病棟になり、入院ベッド数が16床減少している



Q 病床それぞれの入院患者数の内訳と病床数減少での影響は。

入院患者数の内訳は、地域包括ケア病床で7,676人、療養病床は9,085人となっている。また、在宅から入院できなかったケースはなく、スムーズに運営できたと捉えている。



大江病院
管理課

決算額 3,137万7,991円

ICOCA普及拡大事業

事業実施期間内に20,000円以上の鉄道利用があった市民に対し、5,000人を上限に8,000円分のICOCAを進呈する事業



Q 2年にわたって事業を継続した中で、5,000人の目標に対して実績は3,449人であったが、その効果は。

新型コロナウイルス感染症により利用者が激減した鉄道利用回復のためと、ICOCA対応改札口が福知山駅に設置されたことで実施した事業であるが、運輸利用の創出から見ると、6,200万円ほどの鉄道利用があり、地域公共交通の利用増進には貢献できたと考えている。



都市・交通課

当年度純利益 1億1,196万7,091円

老朽化が進む水道管

現在市内全域で、約1,085 kmの水道管路を保有。管路施設の法定耐用年数は40年と定められている



Q 水道管の管路経年化状況と対策は。

昭和40年代から50年代に多くの水道管工事が行われたことから、その年代の水道管が徐々に高経年化していくことで、経年化率が毎年増えていく傾向にある。現在、年間で約6kmずつのペースで更新する目標を立て進めている。



水道課

総括質疑

■歳入関係

問 一般会計決算における歳入決算の状況は。

答 令和4年度一般会計の歳入総額は475億4,801万5,542円で、前年度に比べて、2・3%の伸びとなった。市税が全税目で増収となったほか、減債基金や(仮称)福知山鉄道館ポッポランド整備事業の浅田基金などを活用したことによる繰入金や、京都府中北部地域消防指令センターの整備工事に着手したことに伴う負担金の増による諸収入などが主な歳入増加の要因である。

■歳出関係

問 第6次行政改革および財政構造健全化指針に基づく取り組みは。

答 持続可能な財政構造構築の取り組みにおいては、全ての財政指数の目標値を達成したところであるが、今後も健全な財政を堅持していくために、行政改革大綱と合わせて、持続可能な財政運営の基本方針を定め、令和8年度を目標年次にして指標を設定して取り組んでいるところである。

問 経常収支比率が5年ぶりに3・9ポイント上昇し、92・8%になった要因は。

答 計算上の分母にあたる歳入面では、普通交付税において、コロナ克服新時代開拓のための経済対策として、令和3年度には約5・9億円増額措置されていたものが、令和4年度には約1・5億円に縮減され、この部分で約4・4億円減少するなどし、分母総額では約6・4億円減少した。また、分子にあたる歳出面では、人件費が正職員の給与改定などの影響や、会計年度任用職員の共済組合制度の適用拡大と最低賃金の改定などで約2・5億円増加し、また物件費も電気料、燃料費、ガス料金の高騰の影響で約2・4億円増加したことで、分子総額で約4・4億円増加している。算出式の分母が減少し、分子が増加したことから、経常収支比率を押し上げたものである。なお、京都市を除く、府内の本市を含めた14市における経常収支比率の状況は、単純平均した数値で、前年度に比べて、本市と同じく3・9ポイントの増となっており、この上昇状況は全国的な傾向であると推察している。

問 新型コロナウイルスの感染拡大に対し、過去3年間の取り組みを踏まえて今後の対策は。

答 社会経済活動はコロナ禍前に戻りつつある一方、夏には新型コロナウイルスの感染が再拡大し、さらにはインフルエンザの流行期も想定外に早まっており、今後コロナ感染との同時流行も懸念される。このような状況を踏まえ、今後も感染状況を注視しながら、必要な対応を各関係機関と連携して行っていききたい。



問 投資的事業について、入札不調となった件数とその原因および今後の対策は。

答 入札不調の件数は、延べ件数で、工事が287件中42件、コンサル業務が106件中15件となっている。入札不調案件に関しては、再入札を行い、結果的に発注ができたコンサル業務1件あり、令和5

年度に予算計上し実施することとしている。入札不調の原因は、業者の技術者不足、あるいは工期内完成が不可能であること、また採算が合わないなどの理由により入札辞退となり不調となったものである。対策としては、最新の労働単価、資材単価で発注することは当然として、施工業者から福知山市工事請負契約約款第25条のスライド条項の規定による協議があった場合には適切に審査を行い、基準に合った場合は設計変更などの対応を行い、公共事業を進めていきたいと考えている。

問 ふるさと納税の課題をどのように認識し事業実施に取り組んだのか。

答 返礼品自体を目的とする寄附が増え、地域を応援するというふるさと納税制度の本来的意義が薄くなっている実態もある。本市では、制度本来の意義を踏まえ、多くの市民に本市の魅力を伝え、福知山ファンを獲得し、関係人口を拡大させる機会として捉えて取り組んでいるところである。

問 令和4年度の電気料金について、一般会計決算において令和3年度と比較した変化および、高騰に対する対策は。

答 一般会計決算における電気料の額は、19・2%の増となっている。対策としては、現在のところ、国際情勢の変化に伴う原油価格の高騰と円安の進行により急騰している側面が強く、財政調整基金の繰入により対応しているところであるが、節電対策を継続することに加え、公共施設の照明LED化や省エネ型空調機器への更新などを進め、電力使用量の削減を図ることが有効な手段であると考えている。



LED化された市庁舎の照明

反対討論・賛成討論

(10ページに記載)

審査結果

全議案原案可決又は認定

委員会審査報告

主な質疑を掲載します。

総務防災委員会

市職員定数条例の改正

消防職員の定数25人増について、消防職員に求める高い専門性とは。

現在、救助隊・救急隊・消防隊の各分野を兼任して従事しているが、高度化する災害現場に対応すべく、各部隊ごとに専任化を図るものである。

増員する25人の採用計画は。

毎年5人ずつ採用し、令和11年度に定数155人を達成したい。

市火災予防条例の改正

改正の背景と理由は。

条例制定当時は鉛蓄電池が一般的であったが、現在はリチウムイオン蓄電池やニッケル水素蓄電池などが開発されており、これらに対応した蓄電池の安全性を考慮して改正に至ったものである。

反対討論、賛成討論

なし

審査結果

付託議案全て全員賛成で可決

教育厚生委員会

市三和会館条例の廃止

三和会館を廃止した後の活用方法は。

現在、三和町自治会長会に活用の意向を確認しており、活用の意向があれば優先的に活用いたたく。活用の意向がなければ、民間に活用方法を募ることを考えている。

工事請負契約の締結（桃映地域公民館新築工事）

工事中の代替施設は。

現在、桃映地域公民館は、体育館の中に事務所があり、工事中でも使用することができる。新築場所は、大正文化センターの跡地である。

工事請負契約の締結（六人部地域公民館・体育館大規模改修工事）

工事中の代替施設は。

工事中は、福知山市企業交流プラザの部屋を借りて仮事務所を置き、公民館主催の講座を行う。これまで賃館利用をされていた団体には、六人部地域公民館を利用するのと条件で、他の地域公民館を借りることができる。

反対討論

あり（議第43号に対する討論内容）

内容は10ページに記載。）

賛成討論

なし

審査結果

付託議案全て原案可決

産業建設委員会

市三和荘施設条例の制定 ※1

4つの条例を廃止し、三和荘施設条例に一本化する理由は。

条例の制定時から社会情勢も変化の中で、今回三和荘の改修に伴い、それぞれの施設運営の目的を一本化し、現状に即した三和荘の施設のあり方を整理した。

市空家等の適正管理に関する条例の一部改正

国の空家等対策の推進に関する特別措置法一部改正の主な内容は。

空家の所有者の責務の強化、空家の管理や活用の拡大、管理不全空家に対しても市が指導勧告できる権限の追加、特定空家の除却における緊急代執行制度の追加などである。

反対討論

なし

賛成討論（※1に対する）

新たに委託される事業者とともに安定した運営に努め、必ず三和荘が復活するように市で取り組んでほしい旨を申し添えて賛成する。

審査結果

付託議案全て全員賛成で可決

市民の皆さんからの請願審査

請願第3号 国に対し刑事訴訟法再審規定(再審法)の改正を求める意見書提出に関する請願



■請願者／日本国民救援会 福知山支部
代表者 宮本 平一氏

請願賛成討論

「市民を冤罪から守る意見書は重要」

足立 治之

我が国の冤罪又は捏造による事件は126件あると言われていた。冤罪は、本人の人生を棒にふるさる程の国家による大きな人権侵害である。本市でも市民の皆さまが冤罪被害を受ける可能性はゼロとは言えない。地方議会からいち早い法整備を願うことは、市民を冤罪から守るために意義があり重要だ。

「冤罪早期解決の法整備は急務」

吉見 純男

冤罪に関する再審手続きには、多くの事件で人の一生を

捧げるほどの時間を要している。手続きを迅速に行うためには、刑事訴訟法の再審手続きの法整備が必要である。市議会基本条例は「議会は国に対し意見書等を提出することにより、市民の要望を国に直接伝えることに努めなければならない」としている事からも賛成する。

請願反対討論

「立法は国の専権事項」

藤本 喜章

冤罪は決してあってはならないし、重大な人権侵害であることは請願者と同じ思いである。しかし立法は国の専権事項であり、地方議会で判断することは非常に難しく法務省、最高裁判所、日本弁護士連合会、検察庁が積極的に検討し、冤罪をなくし正当な裁判が行えるようにしていただきたく、現時点での意見書提出に反対する。



請願第4号 福知山市の給食費無償化を求める請願

■請願者／小・中学校給食費の無償化を求める会
共同代表 上石 香織氏 他3名

請願賛成討論

「福知山市の給食無償化を求める」

梶原 秀明

憲法第26条に「義務教育は、これを無償とする」と規定されているように、義務教育は無償であるべきである。学校給食は給食法で食育と位置付けられ教育の一環。本来、国が責任をもって無償化の措置をすべきだが、国が無償化に足を踏み出していない現状において、まず、市が給食費無償化にとりくむべき。

■請願反対討論

「小・中学校完全給食無償化は必要か」 足立 治之

本市における給食費の総額は概算3億2800万円となる。毎月の給食代金4400円～5000円の支出が経済的に困難なご

家庭については手厚い対応がなされるべきだが、受益者負担の原則こそ重要である。他の市町村が実施しているから本市もするべきであるという安易な考え方には強く反対する。

「国全体として一元的に進めるべき」 野田 晋介

給食費の無償化を実施するには年間約3億円程度の財源が必要となり、恒久的に支出する財源確保には課題が残るといわざるを得ない。また、本施策は国全体として一元的に進め、全ての児童に均等な機会を享受できるように国の動向に注視すべきであると考えている。以上の理由から本請願に反対とする。

請願第5号

国に対して「小・中学校給食費無償化するための財政措置を求める意見書」の提出を求める請願



■請願者／小・中学校給食費の無償化を求める会
共同代表 上石 香織 氏 他3名

■請願賛成討論

「国は給食費無償化の財政措置を」 梶原 秀明

現在の大きな国家的課題である少子化の解消に向けて、子育て世帯への経済支援は急務の課題となっている。子育て世帯にとって、小・中学校の給食費の無償化は大きな支援策となる。政府は異次元の子育て支援をうたっているが、そうであるならまず、政府の責任で国庫から給食費無償化の財源を保障すべき。

「給食無償化は国の務め」 小瀧 真里

戦後の食糧難を背景に児童生徒の栄養改善を主な目的とし

ていた学校給食法は、平成20年の改正により、給食をとおして「食育」を進めるということが目標となった。これによって学校給食は教育の一環として実施していくことが明確になった。よって、学校における「食育」の根幹をなす給食を無償化することは国の務めだと考える。

■請願反対討論

「給食費は受益者負担が原則である」 足立 治之

本市が給食費無償化をした場合は3億2800万円の財源が必要であり、国が全国すべての小・中学校の給食費を無償化した場合、概算で4118億円の財源が必要となる。経済的に支払いが困難な家庭については手厚い対応が必要だが、国においても受益者負担の原則を守ることが重要である。

請願第6号 患者・利用者のいのち・暮らしを支えるケア労働者の賃金改善と人員増のため診療報酬・介護報酬・障害報酬を引き上げるよう国に求める意見書提出に関する請願



■請願者／京都医療労働組合連合会
執行委員長 勝野由起恵 氏 他2名

■請願賛成討論

「ケア労働者の処遇改善は急務」 中村 初代

社会的に重要な役割を担っているケア労働者の職場では深刻な人手不足が問題となっている。その原因は、過酷な労働環境と全産業平均と比べて低い賃金水準にある。賃金引き上げのためには来春予定の診療報酬・介護報酬・障害報酬が不可欠である。安心して受けられる医療・介護・障害福祉の実現のために国への意見書に賛成する。

「ケア労働者の処遇改善は急務」 小瀧 真里

医療・介護・福祉などの現場で働くケア労働者が、社会に

必要不可欠なエッセンシャルワーカーとされる一方で、その役割に見合った処遇ではないことが問題視されている。すべてのケア労働者を対象に賃金の引き上げの抜本的な見直しを行い、確実に処遇改善に結びつく制度を一日も早く実現することは、国が行うべき急務である。

■請願反対討論

「見える化と透明性の向上が必要」 井上 雄一

ケア労働者の処遇改善は引き上げの検討を行う国の公的価格評価検討委員会がさらなる財政措置を講じる前に国民の保険料や税金が効率的に使用され、現場で働くケア労働者の方々に広く行き渡るようになっているのか費用の使い方の見える化を通じた透明性の向上が必要で、見える化を制度化することが重要と考えるため反対する。

意見書に対する討論

市会発意第1号 小・中学校給食無償化を推進するための財政措置を求める意見書



賛成

「政府も必要性を認めている施策」 梶原 秀明

先ほど、請願第5号が賛成多数で採択されたところである。本件は政府もその必要性を認めている少子化対策の一施策であるため、ぜひとも採決すべきである。

反対

「国へ給食費無償化の意見書必要か」 足立 治之

給食費が本市の財政負担であれば請願に反対し、国の財政負担であれば賛成し国に意見書まで提出する行為は、矛盾に満ちており福知山市議会のすべき行為ではない。よって国への意見書の提出には強く反対する。

市会発意第2号 患者・利用者のいのち・暮らしを支えるケア労働者の賃金改善と人員増のため診療報酬・介護報酬・障害報酬の引き上げを求める意見書



賛成

「報酬単価引き上げの声を地方から」 中村 初代

9月22日の本会議で、報酬単価の引き上げを国に求める意見書提出の請願は賛成多数で採択された。採択した以上、議会はその実現に向けて最善の努力をすべき社会的責任があ

る。ケア労働者の賃金改善には報酬単価の引き上げが不可欠。政府が報酬単価の議論を進めている今だからこそ、地方議会から意見をあげる必要がある。

賛成

「意見書を追い風に」 小瀧 真里

ようやく政府によるケア労働者への処遇改善の動きが見え始める中、地方から願いを届けることが、有効な施策を進める上での追い風となるはずである。本議会において賛成多数により請願が採択され、議員の知恵を集めてみがかれてきた本意見書が可決され、市民の切なる願いが国に届くことを心から信じて賛成の討論とする。

反対

「診療報酬などの引き上げは尚早」 井上 雄一

国は、本件に対しすでに議論を行い、現場で働く方々の処遇改善・業務効率化・負担軽減への適切な措置を講ずる段階に入っている。昨年の10月より給与改定を恒久的に3%引き上げる措置を実施し、現在はその処遇改善が職員給与にどう反映されたかの検証段階にある。以上の点を踏まえさらなる報酬の引き上げは適切ではないと考える。

議案に対する討論

議第68号～議第69号 令和5年度福知山市一般会計補正予算(第4号)ほか ※(第5号)から繰上げ



賛成 (全議案)

「被災者に寄り添って早期の復旧を」 森下 賢司
暮らしの支援、道路や河川の復旧、農地や農業への支援、

林地や治山への対応、災害ごみの処理、中小事業者への支援、法定外公共物被災への配慮など、広範囲にわたるきめ細かな予算措置で、復旧への積極姿勢が伺える。早期の復旧を願って賛成である。

議第36号～議第52号 令和5年度福知山市一般会計補正予算(第5号)ほか ※(第4号)から繰下げ



反対 (議第36号)

「市は住民の声を理解していない」 荒川 浩司
質疑でも明らかになった様に、債務負担行為の内容を中心に内容や金額的にも説明不足で審議不十分。また、市民の意見が反映されていない面やコンサル丸投げの弊害を感じます。建設費が約60億の承認はできません。

反対 (議第43号)

「公の財産として市は責任を持つ」 吉見 純男
これまでに市域の学校や集会所施設などの行政財産は条例を廃止して、民間貸し付けや売却、除却が進められている。このようなことが無作為に行われると、地域の文化や生涯学習機能の後退、少子高齢化にもつながる。これまでどおり、住民自治のより所施設として福知山市が三和会館を運営する必要があると考え、反対する。

反対 (議第36号)

「市民の声、願いを聞いていない」 塩見 聡
7名の事業運営計画検討委員会に福知山市民が一人も入っていない。また600席への縮小は新温泉町と同等で北近畿最少ホールとなる。1000席以上を望む市民の声を無視している。他施設と比べZEB検討予算に約5900万円と法外な予算計上。随意契約のプロポーザルばかりでコンサル任せは危険性があるため反対。

賛成 (全議案)

「本市にもっと文化に触れる機会を」 小松 遼太
全議案に賛成し、議第36号の新文化ホール計画は付帯決議付で賛成。これまでの基本構想・計画策定において行政主導を抜け出せず、市民や議会への説明も不足。それでも新文化ホール計画を通じ、文化振興を進めることは豊かな暮らしを実現するために必要。市民と対話を重視し、行政との新たな関係性を築くことを要望し賛成。

反対 (議第36号)

「市民目線の着実な計画策定が重要」 足立 治之
「新文化ホール計画策定事業」について建設場所・客席数など基本構想には賛成だが、市民参画と明示されながら補正予算の中身が明確ではなく、また債務負担行為として基本設計・支援業務の1億4238万円も精査された金額ではない。役所内で専門チームをつくり計画を進めていくことが肝要である。

賛成 (全議案)

「市民の信頼を得た新文化ホールを」 イシワタ マリ
議第36号・新文化ホールの今年度予算は、課題点を明らかにするためにも必要な歳出と理解するが、債務負担額は最小限に抑える工夫と内訳の検討を。対話による丁寧なプロセスを通じ将来にわたって愛される文化拠点を育むための、本市の尽力への期待と、市議会の責務遂行への決意を「付帯決議」に込める意味で賛成する。

議第53号～議第67号 令和4年度福知山市一般会計歳入歳出決算の認定ほか



反対 (議第53号及び議第64号)

「法令遵守に基づく行政運営を」 吉見 純男
議第53号は平成14年に同和対策特別措置法の失効後も同和行政が継続している。自治会長を非常勤特別職の地方公務員として事務委嘱することは、地方公務員法第3条の特別職に属する地方公務員の規定に抵触する。農匠の郷やくのの長期閉館は、設置目的を達せず問題がある。議第64号は医療が差別される制度設計で反対。

賛成 (全議案)

「適切な予算執行であり、認定する」 森下 賢司
全15議案に賛成する。一般会計では投資的経費の増加の一方で、市民税をはじめ全市税項目が増収となり好調だ。健全化判断比率や各財政指標からも堅調な財政運営が伺える。特別会計や企業会計でも、厳しい経済情勢の中で、着実な販売実績や堅実な事業運営がみられる。この傾向が続くことを望み、いずれも認定する。

9月定例会の議決結果について

■全員賛成で可決・承認・同意となった議案

議第37号	令和5年度福知山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
議第38号	令和5年度福知山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議第39号	福知山市職員定数条例の一部改正
議第40号	福知山市火災予防条例の一部改正
議第41号	福知山市立公民館条例の一部改正
議第42号	福知山市立図書館条例の一部改正
議第44号	福知山市三和荘施設条例の制定
議第45号	福知山市バス運行事業に関する条例の一部改正
議第46号	福知山市空家等の適正管理に関する条例の一部改正
議第47号	工事請負契約の締結（桃映地域公民館新築工事）
議第48号	工事請負契約の締結（六人部地域公民館など改修工事）
議第49号	訴えの提起（裁判上の和解を含む。）
議第50号	訴えの提起（裁判上の和解を含む。）
議第51号	専決処分の承認（台風7号関連補正予算）
議第52号	専決処分の承認（財政調整基金の繰入れ）
議第54号	令和4年度福知山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第55号	令和4年度福知山市国民健康保険診療所費特別会計歳入歳出決算の認定
議第56号	令和4年度福知山市と畜場費特別会計歳入歳出決算の認定
議第57号	令和4年度福知山市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定

議第58号	令和4年度福知山市休日急患診療所費特別会計歳入歳出決算の認定
議第59号	令和4年度福知山市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第60号	令和4年度福知山市農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第61号	令和4年度福知山都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第62号	令和4年度福知山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第63号	令和4年度福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定
議第65号	令和4年度福知山市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
議第66号	令和4年度福知山市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
議第67号	令和4年度福知山市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定
議第68号	令和5年度福知山市一般会計補正予算（第4号）※（第5号）から繰上げ
議第69号	財政調整基金の繰入れ
議第70号	人権擁護委員の候補者の推薦（植村 擁子 氏）
議第71号	人権擁護委員の候補者の推薦（高橋 正則 氏）

議決結果

■議員別賛否一覧表（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案	会派別議員名（議決結果）	議決結果	福知山市議会公明党			日本共産党市会議員団			蒼士会			無所属・維新議員団			地域政党 ぶくちやま			新政会			福知山未来の会			無党派	
			大谷 洋介	足立 伸一	吉見 茂久	吉見 純男	中村 初代	梶原 秀明	高橋 正樹	野田 晋介	藤本 喜章	塩見 聡	岩崎 崇央	荒川 浩司	小原 彰紀	中嶋 守	小松 遼太	岡野 天明	片山 正紀	井上 雄一	森下 賢司	田中 法男	インフタマリ	小瀧 真里	足立 治之
議第36号	令和5年度福知山市一般会計補正予算（第5号）※（第4号）から繰下げ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第43号	福知山市三和会館条例の廃止	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	令和4年度福知山市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	令和4年度福知山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	国に対し刑事訴訟法再審規定（再審法）の改正を求める意見書提出に関する請願	不採択	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
請願第4号	福知山市の給食費無償化を求める請願	不採択	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第5号	国に対して「小・中学校給食費無償化するための財政措置を求める意見書」の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願第6号	患者・利用者のいのち・暮らしを支えるケア労働者の賃金改善と人員増のため診療報酬・介護報酬・障害報酬を引き上げるよう国に求める意見書提出に関する請願	採択	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
市会発意第1号	小・中学校給食費無償化を推進するための財政措置を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
市会発意第2号	患者・利用者のいのち・暮らしを支えるケア労働者の賃金改善と人員増のため診療報酬・介護報酬・障害報酬の引き上げを求める意見書	否決	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 ※ 田淵裕二議員（新政会）は議長職のため表決に加っていません。所属会派は、10月30日現在

ここが聞きたい！ 9月定例会

スマートフォンから
ご覧になれます

録画配信中！

一般質問の録画配信は、
各議員の二次元コード
からご覧になれます

質問議員

一般質問

各会派から18議員が質問に登壇！

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 日本共産党福知山市会議員団
中村 初代 議員 | 7. 福知山市議会公明党
大谷 洋介 議員 | 13. 地域政党ふくちやま
小原 彰紀 議員 |
| 2. 蒼士会
藤本 喜章 議員 | 8. 無所属
足立 治之 議員 | 14. 新政会
片山 正紀 議員 |
| 3. 無所属・維新議員団
岩崎 崇央 議員 | 9. 福知山未来の会
小瀧 真里 議員 | 15. 蒼士会
野田 晋介 議員 |
| 4. 地域政党ふくちやま
荒川 浩司 議員 | 10. 日本共産党福知山市会議員団
吉見 純男 議員 | 16. 福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員 |
| 5. 新政会
小松 遼太 議員 | 11. 新政会
岡野 天明 議員 | 17. 日本共産党福知山市会議員団
梶原 秀明 議員 |
| 6. 福知山未来の会
森下 賢司 議員 | 12. 無所属・維新議員団
塩見 聡 議員 | 18. 新政会
井上 雄一 議員 |

※所属会派は10月30日現在

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

※答弁者が同一の場合は、最後の答弁にのみ記載しています。

Q 台風7号を教訓に今後災害対策は

A 堤防やダムなど住民の声を届ける



土砂が満杯になっている大谷の砂防ダム

日本共産党福知山市会議員団
中村 初代 議員



問 今回のような短時間集中豪雨による災害は今後、どこでも起こりうる。治山、砂防事業への今後の考えと管理の実態把握は。

答 治山、砂防事業は府が実施している。堤防やダムの設置の要望や維持管理への住民の意見を市からも伝える。

（産業政策部長）

問 今回の災害では河川に大量の土砂が堆積したが、¹浚渫の要望が多くあるが、どう対応していくのか。

答 河川断面の3割以上の堆積で順次浚渫を実施している。災害の河川は

引き続き浚渫を行い、早期復旧を図る。

（建設交通部長）

問 今回多くの浸水被害をもたらした大江町河守地区の大谷は、これまでも地域から要望が繰り返されてきたが、改修の計画は。

答 令和5年度に砂防堰堤の上流部に治山ダムの建設を予定していたが、林道の災害があり再検討する。

（産業政策部長）

問 住民からは²ボックスカルバートを広げてほしいとの声がある。住民の要望をよく聞いて改修の計画をたてるべきだが。

答 今回はマスに流木が溜まり断面を阻害した災害。流量計算を行い断面決定をしている。

（建設交通部長）

その他の質問

- ・台風7号による被害の早期復旧に向けて
- ・ゴミの減量化について
- ・コンクリートの納入に係る不正行為について

※1 浚渫…川底をさらって土砂を取り除くこと ※2 ボックスカルパート…箱の形をした地下に埋設されるコンクリート構造物

Q 学校施設長寿命化計画の進捗状況

A 来年度に計画の中間見直しを予定



改修予定の南陵中学校

蒼士会
藤本 喜章 議員



問 学校の施設整備の留意事項と学校施設を取り巻く状況、また老朽化に対する整備状況は。

答 令和2年3月に策定した福知山市学校施設長寿命化計画で事後保全型から予防保全型に転換し、施設の長寿命化と財政負担の縮減を図っている。留意点は築年数のたつていない施設でも危険な場合は速やかな対応が必要なことである。取り巻く状況では、第二次ベビーブームに合わせ多く建設された校舎に対する修繕が追いついていない現状がある。現在は施設の劣化の原因となる外壁や屋

上の防水を優先して改修している。計画の一部、進捗の遅れが見られるが学校からの要望を踏まえ進めている。

問 計画達成に向けての課題と展望は。

答 現在の計画は策定以降の建物の劣化などに対応する為、計画の中間見直しを来年度に予定している。劣化が予想以上に早いため、この見直しを踏まえ、計画的に長寿命化を図ることでコストの縮減と平準化を図り、施設整備に係るコストを全体として抑制していく。
(教育部長)

その他の質問

- ・自転車用ヘルメット購入補助金について
- ・「はばたけ世界へ 中学生短期留学事業」の取組みについて

Q 感染の再拡大から市民を守るには

A ワクチン接種を進めていく



福知山市のホームページのバナー画像

無所属・維新議員団
岩崎 崇央 議員



問 前回の一般質問において、新規感染者数が微増との事だったが、お盆以降の最新の感染状況は。

答 中丹西保健所管内における新規感染者数は、京都府の平均値を上回り、お盆以降も高止まりの状況。現在も定点観測において32・8人と高いレベルで増加の傾向が続いている。

問 新聞報道には7月末、一時的に医療逼迫の瀬戸際とあるが。

答 7月24日から7月30日までの京都府内における病床使用率は25%。翌週の重症者病床の使用率は10%であり、中丹西保

健所によると入院可能な病床は一時、満床にはなったが、現在は解消している。

問 新たな変異株も流行りつつあるが、感染の再拡大への対応は。

答 感染者が増えた場合、府の入院支援センターが介入して入院調整を行い、保健所も診療態勢の調整に入る。本市においても引き続き、換気などの感染予防策の啓発を行い、9月20日から個別接種と集団接種のワクチン接種を開始して希望される方が、円滑に接種できるように進めていく。
(福祉保健部長)

その他の質問

- ・防災・減災の取組みについて
- ・選挙制度の在り方について

Q 住民のために条例改正が必要だ

A 条例改正は考えていない

福知山市開発行為に係る手続き及び紛争の調整に関する条例	京都府産業廃棄物処理施設設置等の手続きに関する条例
(開発事業計画等に対する意見書の提出等) 第10条 近隣住民等は、前条第7項の規定により説明報告書又は説明交渉報告書の提出日がお知らせ板に記載された日から14日以内に、開発事業計画等に対する意見を記載した書面(以下「意見書」という。)を開発者に提出することができる。	(意見書の提出) 第11条 第2項 前項の規定による意見書の提出は、第7条第2項に規定する縦覧期間満了の日の翌日から起算して14日を経過する日までに知事に到達するように、しななければならない。

福知山市の場合、当事者の立場から意見書の提出期限である14日の起算日が不明確。

関係する市と府の条例との対比

地域政党ふくちやま
荒川 浩司 議員



問 土師宮町地域に産業廃棄物中間処理施設の建設予定業者が市に提出した「開発行為説明報告書」には、地域への説明会を開催となっている。実際説明会は行われておらず、虚偽の報告では。このような事態が発生するのは、「福知山市開発行為に係る手続き及び紛争の調整に関する条例」の問題がある。同条例第9条に「業者から近隣住民に説明会を開催したと報告があった場合、市は自治会に説明会の有無を確認しなければならない」と改正すべき。また、同条例第10条にある開発事

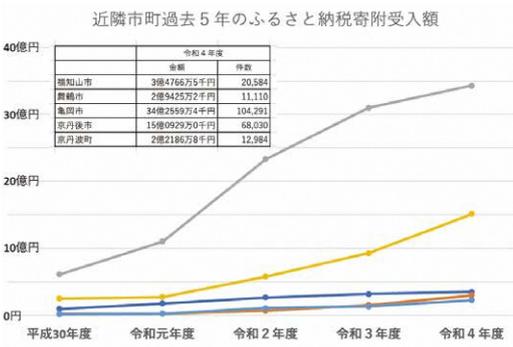
業計画等に対する意見書の提出期限は「お知らせ板に記載された日から14日以内」とあるが、今回「お知らせ板に記載」があったのかも不明。住民に親切な条例改正が必要だ。
答 条例は、近隣住民等と開発者の自主的な調整を前提に、住民からの手続きの進め方について、具体的な苦情や相談があったら開発者に事実を確認し必要な対応を取るもので、条例改正は考えていない。また、お知らせ板による意見書の提出期限の周知についても、条例改正は考えていない。(建設交通部長)

その他の質問

- ・高齢者や歩行困難者がシニアカーで安心して外に出られる道路環境について
- ・荒木自治会の夜間避難訓練のための蓄光マーカーの設置について
- ・自伐型林業のこれまでの成果と課題、また将来ビジョンは
- ・福知山市民病院で日本語の読み書きが分からない外国人の方への対応は

Q ふるさと納税寄附額大幅増は

A 目標額以上へ、適切な人員配置を



福知山市近隣市町のふるさと納税額
過去5年の推移
※総務省データを引用し作成

新国会
小松 遼太 議員



問 本市と同規模の亀岡市も30億円を超え、全国では町で100億円を超えるところ、また2年で10倍以上の寄附額を集める自治体も。市に入る額よりも出る額が上回ることも考えられるが、目標は。
答 令和5年度はさまざまな要素を考慮して、3億9120万円を目標として取り組んでいる。(市長公室長)

問 市が窓口となり、災害支援やペットの殺処分保護猫など社会課題や花火大会などイベントの寄附を集める※ガバメントクラウドファンディングをするべきでは。
答 台風7号災害についてすでに4つの※ポータルサイトで寄附を募っており、地域課題の解決のためにクラウドファンディングを積極的に取り組んでいきたい。(市長)

問 ふるさと納税は自治体が稼ぐ唯一といった言い手。担当の行政職員が足りず、係ですらない現状を変え、民間事業者を巻き込み、寄附額大幅増に向け努めるべきでは。
答 課の連携を行い、新たなルールも踏まえ、目標額以上の寄附額獲得に向けて毎年度適切な人員配置を考える。(市長公室長)

※1 ガバメントクラウドファンディング…地方自治体がプロジェクト実行者としてインターネットを通して資金を募る仕組み
※2 ポータルサイト…インターネットで目的の情報に行き着くため、閲覧者が最初にアクセスする入り口の役割をもったウェブサイト

一般質問

Q 児童館の遊戯室にエアコン設置を

A 期間限定レンタルなどを検討する



子育て拠点としてさらなる機能充実が求められる
市立の児童館

福知山未来の会
もりした けんし 議員
森下 賢司



問 市内の9児童館の事業展開をする上での課題と改善策は。

答 旧3町では児童数減による来館者数の減少で、出張児童館や他館との合同事業も実施中。児童虐待相談件数増で、職員のスキル向上のための職員研修も実施している。

問 気温35℃以上になると利用不可になる遊戯室にエアコン設置できないか。

答 多額の費用と改修が必要となるため、現時点で導入は難しいが、冷房設備がある部屋の利用促進にも限度があり、期間限定での冷房設備レンタル

ルなどを検討していきたくい。

問 施設の老朽化に際して、改修や修繕の状況と今後の見込みは。

答 古い施設は約40年経過しており、毎年優先順位を決めながら計画的に改修や修繕をしている。今後も運営に必要な修繕をしながら施設の長寿命化を図り維持管理していく。

問 子育て拠点としてさらに発展するための今後の方向性は。

答 子育て世帯が気軽に立ち寄り、相談や親同士の交流が活発にできる拠点を目指す。

(子ども政策監)

その他の質問

- ・台風7号災害にみる、これからの自然災害への備えは
- ・ファームガーデンやくの再開に向けた取り組みの現状は

Q 市役所窓口のICT化の推進を

A 行かない、書かない窓口を実現へ



窓口申請書作成支援システム

福知山市議会公明党
おおたに ようすけ 議員
大谷 洋介



問 すべての市民が「行かない、書かない」窓口の実現に向けて、デジタルツールを活用した取り組みは。

答 1つ目は、オンライン申請システムで、マイナンバーカードによる個人認証が可能なシステムが5月から稼働している。2つ目は、Web相談システムで、地域包括支援センター職員が、相談者宅を訪問する際に、相談内容に応じて市役所本庁舎の各担当部署の職員と相談者がオンラインでお互い顔を見ながら相談できるシステムである。3つ目は、書かない窓口で、

市民課窓口でマイナンバーカードを利用した窓口申請書作成支援システムの導入を目指している。(市長)

問 窓口配備しているレジスターに、キャッシュレス決済機能を追加することや感染症予防対策として、非接触のセルフレジに変更することになっているが。

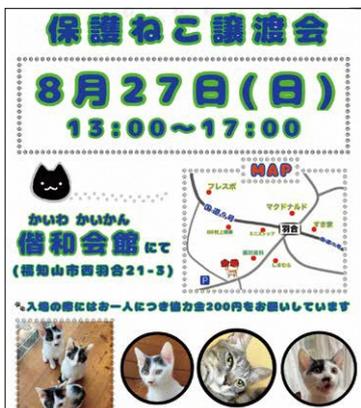
答 令和5年度中に実施する。(市民総務部長)

その他の質問

- ・台風7号の短時間豪雨による土石流被害について
- ・福知山市汚泥処理施設再構築事業について
- ・奨学金返済の負担軽減について
- ・AED設置場所確認アプリの活用について
- ・子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種の周知徹底について

Q 動物愛護の考え方と対応について

A 市としてこの活動を支援していく



ボランティア団体による保護猫活動のチラシ

無党派 足立 治之 議員



問 本市では、野良猫、野良犬の扱いに困った市民の方の電話に対し「保護猫活動の団体に電話をされては」との案内がある。この案内で犬猫の命が助かるのであれば、と活動されている保護猫団体の懸命な努力に対する本市の見解は。

答 動物保護団体の皆さまが犬猫の中でもとりわけ猫の不適正な飼育や、野良猫に対する困り事について市民の方から多くの相談を受け、訪問指導や保護、譲渡会に至るまでの懸命な活動は十分承知しており、本市の動物愛護適正飼養の推進に貢献していただいていると

認識している。

問 こうした団体の活動を守る為にも、保護猫譲渡会に市の後援をつけていただくとか、犬猫の不適正な飼育や、餌やりをしないなどのチラシの回覧など、具体的な協力は得られないのか。

答 団体の活動について後援申請があれば、市の後援名義等使用承認事務取扱基準にかなうものであれば承認したい。野良猫に餌やりをしないなど市民の皆さまへの周知啓発活動にも積極的に取り組みたい。

(市民総務部長)

その他の質問

- SDGsに基づく、ウォークアブルな街づくりから見た給水ポイントやイベントについて
- 空き家増加による本市の問題点と将来展望について

Q 病児保育拡充の見通しは

A 受け入れ枠を超えた段階で考える



福知山未来の会 小瀧 真里 議員



困ったときに助けてもらえる子育て環境を

問 核家族の家庭が増える中、体調を崩した子どもを預かってもらえる病児保育の利用状況は。

答 本市の病児保育事業として、市民病院と京都市ルネスクリニックが受け入れをしている。令和2年度から利用者数が増え、令和4年度は562人が利用している。(市長)

問 今後、さらに利用者数が増えることが予想されるが、受け入れの拡充を考えているか。

答 現在、両院で1日当たり合計11人まで病児を受け入れていますが、枠を超えることはなく直ちに受け入れ枠を広げる必要はないと考えている。しかし、今後、増加していくようなら利用者に不安を与えないよう対応していきたい。

問 11人を超えないという現状だが、果たして希望者が少ないのかどうかは疑問である。民間でも病児を受け入れている小規模保育所があるが、連携して受け入れの枠を拡げていくことはどうか。

答 そのような民間施設があることは承知しておりチラシを配架するなど情報提供をしている。(子ども政策監)

その他の質問

- 学校選択について
- 不登校傾向にある児童生徒にかかる別室指導について

Q 園福線 住民要望の計画反映を

A 反映可能な要望は採用



乗り継ぎ見込みの菟原停留所

日本共産党福知山市会議員団
吉見 純男 議員



問 京都交通株式会社による「園福線継続計画」の素案では、上り下りの運行便数が現行の5便から4便へと減少している一方で、三和地域から園部までの区間は現状維持ないしは大幅増便計画となっている。減便とした理由は。

答 1日4便の運行計画は路線バスの収益の低さや運転士不足といった厳しい経営環境のなか、運行事業者が路線継続できるとしている最大限の便数を示した。市民病院への延伸や商業施設への立ち寄りなど、利便性向上の経路設定をした。

問 運転免許を持たない交通弱者の移動権や地域振興の観点から、園福線の路線拡充は絶対条件です。地域説明会で出された要望などは運行計画に反映させるべきだが。

答 需要予測や効果性などについて関係機関・交通事業者で協議し、反映できる要望については採用していきたい。

問 園部方面からの乗り継ぎの停留所の整備は。

答 菟原・ミニフレックス三和店前バス停が見込まれる。スムーズな乗り継ぎと修繕や備品更新は調整検討する。
(建設交通部長)

その他の質問

- ・台風7号による農作物等被害に対する支援について
- ・栗の振興対策の拡充を
- ・福知山市会計年度任用職員の処遇改善を

Q 広域避難所の見直しを

A 多様な避難のあり方を検討する



台風7号により土砂で埋まった大谷林道 (大江町)

新政会
岡野 天明 議員



問 台風7号災害の検証チームの立ち上げを。

答 土砂災害警戒区域、特別警戒区域と今回の災害で発生した箇所をハザードマップ上に示して、土砂災害区域外での土砂災害の発生の有無などについて検証していきたい。
(危機管理監)

問 ※砂防堰堤、治山事業対策などを急いでもらいたい。

答 砂防堰堤、治山事業、急傾斜地崩壊対策事業は、京都府が事業主体であり、現在京都府に対して速やかに取り組んでいただくよう要望しているところ

である。
(産業政策部長)

問 広域避難所の見直しが必要ではないか。

答 地域によっては適切な場所がなく、誰もが逃げやすく過ごしやすい避難場所とはなっていない。そうした中、マイマップの作成などの機会に、安全に避難できる場所の検討を行っており、広域避難所への避難が困難な場合には、集会所や民家、高台へのマイカー避難、知人、親戚宅への避難の推進を行っている。
(危機管理監)

その他の質問

- ・マイナンバーカード有効期限到来に伴う更新手続きについて
- ・丹後和紙「丹後二俣紙」技術の継承・発展について
- ・新規採用職員研修について

※砂防堰堤…土石流などを受け止め、下流に流れる土砂の量を調節する施設

Q 新温水プール建築費と維持費は

A 官民連携のため市の支出はない



官民連携手法で新温水プールの建築費と光熱水費や維持管理費も0円になった

その他の質問

- 人口動態から見える北近畿中心都市としての福知山市の役割は

無所属・維新議員団
塩見 聡 議員



問 新温水プールの建築費と維持管理費は。

答 市が無償で貸し付けた土地に事業者が新しいプールを運営するもので、建築費、維持費共に事業者負担で市の支出はない。

問 建替えには6億円から8億円かかると思われるが0円で建った。また年間2600万円の維持費も0円になった。なぜこのような事ができたのか。

答 事前の市場調査で民間の事業可能性を確認し、官民連携による手法で実現した。

問 まさに財政の厳しい（地域振興部理事）

答 令和元年から研修を実施している。今後も官民連携を積極的に推進していく。（財務部長）

問 本市には夢のような手法だ。国は10万人以上の自治体に優先的検討規程の策定を求めているが。

答 すでに市営住宅建替えなどは検討、実施している。しかし文化施設など特性を持った施設にはなじまない面もある。優先的検討規程策定の予定はない。

問 本市は官民連携に優位だ。例えば1500席以上の新文化ホールでも安く建てられる可能性がある。今後の官民連携に対する本市の方針は。

答 令和元年から研修を実施している。今後も官民連携を積極的に推進していく。（財務部長）

Q 災害時、要配慮者の避難所対応は

A 災害時ケアプランで安心の避難を



平成30年7月豪雨による水害の様子（厚中町）

地域政党ふくちやま
小原 彰紀 議員



問 避難所における、車いすや寝たきり、認知症などの要配慮者に対する受け入れ環境は、どのような配慮がなされているか。

答 段ボールベッドの準備や、広域避難所のうち、ハピネスふくちやまなど4カ所には福祉避難スペースとして保健師を配置し、健康観察やトイレ介助を行う体制を整えています。

問 それに加えて、要配慮者一人ひとりの状況に対応し、安心して過ごせる環境整備が必要と考える。今後の方向性は。

答 保健師を配置した避難所のほか、福知山市民間社会福祉施設連絡協議会の協力により、市内18カ所の特養などを福祉避難所として活用し、今回の台風7号では、3世帯5人の利用がありました。今後の方向性として、災害時ケアプランの作成により、要配慮者の方々が安心して過ごせるよう、個々の状況に応じた避難所の選定と移送手段や避難所での支援者確保などの環境整備が必要と考えています。歩行困難者の避難については市民公募型公共事業により事業所の選定を進めています。（福祉保健部長）

その他の質問

- 高齢者2025問題と介護保険事業の今後の展望は
- 自然環境にやさしい河川護岸について
- 北陵地域公民館に設置された太陽光発電の効果と実績は

Q 旧上六人部小学校の廃校利活用は

A 事業者と活用に向け協議を継続中



廃校後の利活用が待ち望まれる旧上六人部小学校

新政会
片山 正紀 議員



問 小学校再編後の活用方針が決まっている旧上六人部小学校の廃校利活用に向けた取り組み状況は。

答 旧上六人部小学校の廃校利活用については過去2回の廃校マツチングバスツアーを実施したところ、昨年度のバスツアー参加者の中で活用意欲が非常に高かった民間事業者が、先月中旬にも現地確認のためにお越しになり、引き続き利活用に向けた継続的な協議を進めている。

(財務部長)

問 廃校利活用之際して旧上六人部小学校は、都

市計画法上の市街化調整区域内にあることから土地利用に係る厳しい規制を受けることとなる。開発許可制度に係るこうした課題を克服するため地元民主導で検討を進めている地区計画制度の導入に向けた取り組み状況と、今後のスケジュールは。

答 地元住民主体で設置された検討委員会において取りまとめられた地区計画素案に基づき近く地元説明会が開催され、今後、住民合意がまとまれば、関係機関との協議など必要な手続きを進め、都市計画決定を目指したい。

(建設交通部長)

その他の質問

- ・ウォークブル推進都市の構築について
- ・企業交流プラザのあり方検討事業について
- ・ドローンを活用したまちづくりの推進について
- ・国民健康保険料の府内統一化について
- ・(仮称) 地域づくり組織条例の制定について

Q 会計待ち時間短縮への取り組みは

A 料金後払いシステムを導入する



会計の順番を示す案内システム

蒼士会
野田 晋介 議員



問 福知山市民病院は福知山地域における基幹的総合病院としての役割を持つ病院である。そのため、利用者も多く、診察から支払いを終えるまで多大な時間を要する場面がある。利用者からも、診察を終えてからの医療費の支払いに関して、「受診が終わってから、支払いが終わるまでにかかるの時間がかかる」というお声をよく耳にする。そこで診察を終えてから医療費の支払いを行うまでの会計待ち時間短縮に向けての具体的な取り組みについての考えは。

答 会計待ち時間が長い

人がいるのも実情で、患者からもさまざまな意見が寄せられている。そこで、来年1月中をめどに、「料金後払いシステム」を導入する。このシステムは、事前にスマホなどでクレジットカード情報を登録しておくことで後日、診療費が決済されるため、診療後の会計を待つ必要がなくなる。また、後払いの利用が広まることで、当日会計をする人が減り、後払い患者以外の待ち時間解消につながることも期待をしているところである。

(市民病院事務部長)

その他の質問

- ・行政手続きオンライン化推進における現状と今後の取り組みについて

Q 三和学園前交差点の安全対策を

A 通行しやすい形状に変更したい



安全対策が必要な三和学園前交差点



福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員



問 小中一貫校三和学園に入る手前の国道9号線の交差点は左折時、鋭角に曲がらなければ入れない安全性に課題がある交差点である。交通量の比較的多い時間帯では交差点を曲がる車は市のスクールバス、三和保育園への送迎などで集中する。歩道整備の際、ゆとりをもって左折できる安全対策を。

答 当該箇所は、国交省が国道9号、辻、芦洲歩道整備事業として約200mの区間、歩道整備事業を実施中である。現在の交差点の形状については、スクールバスが

左折時、市道側の停止線で信号待ちの車が、バックしない曲がり切れなこともあることは本市としても認識しており国交省にも要望した。国交省からは歩道整備に併せて公安委員会と協議を行い国道9号の歩道部分にかかる箇所について通行しやすい交差点の形状に変更したいと聞いています。(市長)

問 歩道の計画について進捗は。
答 現在、近接する横断歩道橋の移設について地元や関係機関などと協議を行っている。(建設交通部長)

その他の質問

- SDGsの観点でジビエ利用の更なる推進を
- 本市の農山村地域が抱える再生への担い手確保は

Q 地元の廃校施設の活用を無料に

A 契約に基づき納入してもらおう



泊まれる学校 丹波篠山市 おくも小学校

日本共産党市議会議員団
梶原 秀明 議員



問 川合小学校は明治時代に地元の方々から現在の価値に換算すると5000万円近い寄附を受けてきた。昭和58年にも地元から寄附を受けているはずだが、いくら寄附を受けているか。

答 1260万円寄附を受けている。(教育部長)
問 平成27年に川合小学校が廃校となり、このままでは学校が荒廃してしまふことを危惧した地元の方が、地域のコミュニティの場として活用したいと申し出たら市は土地の貸借料と光熱費を合

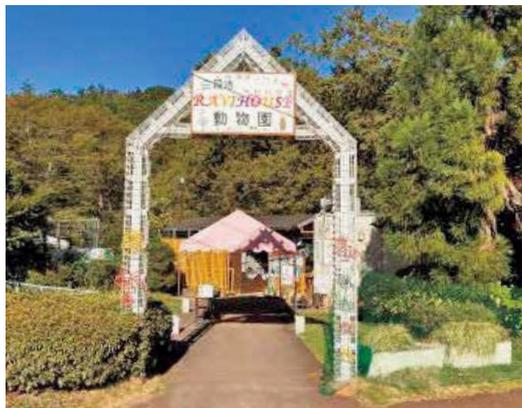
わせて年間約130万円になる。事業をやっても60万円近い不足が出てくるので地域からの寄附でまかなっている。篠山市では廃校となった学校施設の管理を地元任せ、市が地元500万円から670万円の指定管理料を支払っている。これまでの地元の物心両面にわたる学校への貢献を考えたとき、廃校を地元が活用する場合、せめて賃貸料は無料にできないか。
答 民間事業者である活用事業者との契約に基づき納入してもらっている。(財務部長)

その他の質問

- 福知山市文化振興基本方針の具現化について
- 四次元ポケットのような公園を

Q さらに魅力ある動物園を

A リニューアルやイベントの計画中



リニューアルが待たれる
三段池ラビハウス動物園

新国会
井上 雄一 議員



問 施設の老朽化が進む
福知山市動物園の改修の
進捗状況は。

答 動物園は、本市の主
要な観光施設の一つであ
る。園がより活性化する
ための環境整備や美装化
くつろぎ空間の形成やふ
れあい広場の整備を計画
し、12月ごろの着手に向
け準備中。また、授乳室
を併設したトイレの建て
替え設計業務を実施し、
来年度以降工事着手の予
定である。

問 アkses道路の整備
の状況は。

答 令和9年度完成を目
指し事業に着手する。今
年事業計画を、関係自治

会長や地権者へ説明を行
い、測量設計は8月下旬
に完了し、現在道路の詳
細設計を実施中。

問 動物園をさらに魅力
ある園にするためには。

答 餌やりや動物とのふ
れあい体験は非常に好評
で、動物を身近に感じ、
生態を知り、慈しむ心を
育む貴重な学びの場であ
る。幼児向け遊具の整備
や更新、ふれあいたくな
る動物の購入などを検討
する。さまざまなイベン
トを計画し、令和10年度
には開園50周年を迎える
ことから、記念イベン
トの実施などを計画してい
く。
(市長)

その他の質問

- 公立小中学校への防犯カメラの設置につ
いて

委員会活動報告 総務防災委員会

福知山公立大学地域防災研究センターの 取り組みについて研修

開催日
講師

10月23日(月)
福知山公立大学
地域防災研究センター
センター長 水口学氏



水口センター長による研修

令和3年4月に開設された福
知山公立大学の附属機関である
「地域防災研究センター」の取
り組みや今後の展望について学
ぶ研修会を開催した。

地域防災研究センターは、福
知山公立大学で行う「防災」に
関わる研究成果を、福知山市を
はじめとした北近畿一円に対し
て、地域防災のあり方への提言
に繋げたり、各自治体の防災・
危機管理に寄与することをめざ
して設立された。

発足からこれまで①ICT、
AIの活用による地域防災力
強化②地域防災上の本質的課題
の探求と提言③地域防災に関す

る意識・知見向上への支援、の
3つの大きなテーマを掲げて研
究活動に取り組みられてきたこと
をお聞きした。

その研究過程の中で、本年8
月の台風7号災害の折には、被
害が甚大だった大江地域に入り
込み、細かくヒアリング調査を
されて、これまでの水害対策か
ら、土砂災害への対応に向けて
研究されている。また、全学生
に災害ボランティアへの積極的
な参加も促し、早期復旧に向け
ての支援行動も行われた。

開設から歴史の浅いセンター
ではあるが、マサチューセツ
工科大学との共同研究や、国内
他大学に業務委託した研究活動
市内企業と連携し、市内に雨量
計や水位計を設置して観測活動
を行うなど、精力的な取り組み
状況の説明を受けた。

今後の展望として、学生が積
極的に「防災士」資格を取得す
るための養成講座の開講、市民
向け防災セミナーの連続開催、
福知山市防災センターで今後考
えられるリニューアルに向けて、
情報学的知見からの技術支援を
行う旨の話聞いた。
センターの今後ますますの飛
躍に向けて期待が膨らむ、充実
した研修会となった。



委員会活動報告
教育厚生委員会

教育委員会と意見交換「学校教育現場での人材に関する現状、課題や対策」および管内視察

「教育および福祉分野における人材不足の現状とその原因や対策」についてを活動テーマに掲げ、まず、教育分野から調査研究を進めていくこととした。

今回、教育委員会との意見交換および惇明放課後児童クラブの管内視察を計画し、学校教育現場と放課後児童クラブの人材不足の現状、課題や対策などについての調査を行った。

活動日 8月18日(金)

会場 市役所5階委員会室

視察先 惇明放課後児童クラブ

教育委員会からは福知山市立小中学校の教職員および常勤講師の配置状況、課題や対策、そして府や市の会計年度任用職員による非常勤講師などの配置で不登校や学習など児童生徒の指導・支援、教職員の補助を行っている旨の説明を受けた。

課題としては年度途中に必要な代替講師の確保と配置、特に担任を受け持つことを承諾する講師の配置が困難な場合もあり、中丹教育局と協議・調整しながら適正な配置となるよう努めているとの説明があった。また、すでに導入済みの校務支援システムや学校給食費の公会

計化、加えて、教職員の勤務実態に関する検討会にて協議を重ね働き方改革の推進を図っているとのことであった。

放課後児童クラブの利用は、小学1年生から6年生までを対象とし、受け入れ要件を満たす全児童を受け入れているため、待機児童はいない。年々利用のニーズが高まっている中で指導員の安定的確保やスキルアップ、また、計画的な施設修繕も計画されており、安心安全な運営に努めるとしている。今回の活動を通し現状と課題の共有、今後のあり方などを学ぶ非常に良い機会となった。



惇明放課後児童クラブの視察



委員会活動報告
産業建設委員会

ウォーカブルなまちづくり／スタートアップ共創施設／住民主体の文化ホール先進地視察

ウォーカブルな駅周辺整備と地域公共交通を学ぶ

視察日 8月8日(火)午前

視察先 兵庫県姫路市

「姫路市ウォーカブル推進計画」は、中心市街地を歩行者優先の空間として整備し、令和4年度国土交通大臣賞を受賞。本市でも、今後ウォーカブルなまちづくりを進めるにあたり、現場を見ながら意見交換をした。人の対流や行動変容を生み出すには相当な時間を要し、官民が連携でまちづくりに粘り強く取り組む、いい意味での「しつこさ」が重要だということを委員みんなで認識できた。

新規事業を生み出す共創施設を現地視察

視察日 8月8日(火)午後

視察先 SHIBUYA QWS (渋谷キューズ)

本市と連携を結ぶ渋谷キューズ。多様性の集まるような場所で問いをベースに人と人がつながり、新規事業を生み出している最先端の施設。本市にゆかりのある人は利用可能。刺激的なこの場所で、もっと多くの挑戦や連携が生まれることを期待する、そんな空間だった。

福知山市で事業検討が進む新文化ホールの類似施設を視察



対話の文化が育つ600席の「みの〜れ大ホール」(小美玉市)

視察日 8月9日(水)

視察先 茨城県小美玉市

視察先の「四季文化会館みの〜れ」は建築延床面積や大ホールの座席数が本市新文化ホールの計画と同規模である。住民主体で企画運営に携わり稼働率も全国平均を大きく上回る80%〜90%を誇る。住民主体の文化ホールが高い稼働率を維持している秘訣は、「対話の文化」を重要視し、ハード面もソフト面も創る過程から議論が尽くされていたこと。議論を重ね、施設に対して愛着が生まれ、真の市民のためのホール、文化が形成されていた。

予算および決算審査委員会

第9回議員研修会報告

福知山公立大学と福知山市議会の連携事業

開催日 8月24日(木)

講師 福知山公立大学

副学長 西田豊明氏

予算および決算審査委員会では、適正に評価できる審査・調査研究能力の向上を図り、議会機能の強化を目指すため、研修会を行っています。



西田副学長による研修

今回は、専門的知見を活用した研修強化を進めるため、AIに目を向け「第9回議員研修会」を福知山公立大学において、開催しました。

講師には、人工知能を専門分野にされている福知山公立大学 西田豊明副学長を講師に、「*チャットGPT 自治体での活用の可能性」をテーマに研修を受けました。

内容は大きく3つに分けた「チャットGPTの出現に至るまで」「実力を理解する」「自治体に役立てるには？」について学びました。

チャットGPTの実力に触れることができ大変刺激を受けました。

今後は、チャットGPTとどのように向き合っていくかを、議会としても考えていきたいと思えます。

※チャットGPT…インターネットチャットを通してAI（人工知能）が利用できるサービス

委員会活動報告

由良川改修促進特別委員会

由良川治水事業の早期完成を4年ぶりに「出前懇談会」を開催

地域の声を国・府へ、要望活動を実施

活動日 7月18日(火)

国土交通省福知山河川国道事務所との勉強会および現地視察

「流域治水」の推進など令和5年度の河川整備事業の実施状況について説明を受けた。その後、大江町藤原地区の、内水対策として、車両用エンジンを用いた「*マスプロダクツ型排水ポンプ設備」を視察した。

活動日 7月26日(水)

内容 京都府との勉強会および意見交換会

由良川に注ぐ京都府管理河川の整備の現況と課題、令和5年度の事業概要について説明を受けた。その後、意見交換会を行い、河川の浚渫など各事業の着実な推進を要望した。

活動日 8月10日(木)

内容 出前懇談会

市民交流プラザで「出前懇談会」を4年ぶりに開催し、参加者の皆さんと意見交換を行った。これまで度々浸水被害に遭った地域の皆さんから多くの意見や要望を聞かせて頂いた。

【主な意見・要望】

- ・高畑地区堤防の早期完成を。
- ・昭和東地区の土堤防をコンクリート化にして欲しい。
- ・河道掘削を計画的に進めてほしい。
- ・上流部で整備が進む中で、下流部の水位上昇が不安、対策を。
- ・流域治水の取り組みの推進。



貴重なご意見を頂いた「出前懇談会」

活動日 8月29日(火)

内容 京都府・国土交通省近畿整備局を訪問し治水対策および内水被害軽減対策の早期実現への要望とともに、出前懇談会で聞いた意見や要望を地域の声として伝えた。

京都府・国土交通省近畿整備局を訪問し治水対策および内水被害軽減対策の早期実現への要望とともに、出前懇談会で聞いた意見や要望を地域の声として伝えた。

※マスプロダクツ型排水ポンプ…車両用エンジンなどを採用し開発された排水ポンプ

編集後記

記録的な大雨による土砂災害や浸水害など大きな被害をもたらした台風7号により被災されました皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

私達、広報広聴委員会は、8月に市町村議会広報研究会に参加し「伝わる議会報の編集ポイント」についての研修を受講しました。

研修では、広報誌を分かりやすく伝えるテクニックとしてリード文を端的に記載する重要性や罫線や枠線の効果的な使い方などについて、実際の各市・町が発行している広報誌をもとにご説明いただきました。

市民の皆さまに手に取って読んでいただける広報誌となるよう精進してまいりますので引き続きよろしくお願いいたします。

(広報広聴委員会)

12月定例会の予定は福知山市議会ホームページをご覧ください。



「元気やで福知山！」

No.47

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：小原 彰紀 ・ 吉見 茂久

食生活改善推進員の活動で健康づくりを促進

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を議員が訪問し取材します。

今回の訪問は、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに食を通して地域住民の健康づくりを推進されている食生活改善推進員(愛称、ヘルスマイト)さんです。福知山市食生活改善推進員協議会(以下「協議会」という)会長の塩見とも子さん、副会長の吉良静子さん、橋本登志子さん、会計兼理事の足立理華子さんから活動についてのお話をお伺いしました。



左から塩見とも子さん、橋本登志子さん、足立理華子さん、吉良静子さん

Q 活動の内容は
A 食生活改善推進員は全国的なボランティア団体で、養成講座を受講し、終了された方

が協議会に入会して活動が始まります。現在、協議会会員数は40名で、行政と連携をとりながら研修会を通して会員の資質向上に努め、年間活動計画を基に事業を進めています。受託事業として子どもの朝食欠食を改善するための「おやこの食育教室」、低栄養、フレイル予防のための「生涯骨太クッキング」他、生活習慣病を予防する料理の紹介、実習など、子どもから高齢者までさまざまな年齢にあった食育活動を行っています。

Q 特に力を入れていることは
A 高血圧を防ぐ「減塩」を中心に考えたバランスの良い生活の推進です。活動区域は中央、六人部、日新の3つのブロックに分かれており、それ以外の地域から依頼を受けても会員で協力しあいながら活動しています。

「はじめよう！減塩大作戦」と名付け、「麺類は汁を半分残すだけで減塩に」、「毎食の漬け物は塩分の取り過ぎ、まず



参加者が食生活チェック

と一緒に作るなど自主活動にも力を入れております。さらに公民館の講座「男性クッキング」の依頼もあり参加者と一緒に楽しく調理しています。

Q 喜びを感じる時は
A 参加者から塩分を意識することがわかって感謝の言葉をかけられるときです。

Q 今後の抱負は
A 会員が増えることを望んでいます。空いた時間に参加してもいいと思います。今後も地域で皆さんとつながりながら食を通じた健康づくりをさらに広げていきたいです。



「男性クッキング」の様子

広告

捨てる前にお電話ください
昭和レトロ/骨董品/雑貨/贈答品
アニメ品/足ふみミシン/水屋筆筒
リサイクルショップ **ぶらんこ山本**
〒620-0804 福知山市石原一丁目28 営業時間10:00~18:00
☎0773-27-3893 携帯080-4016-4777 @BURAYAMA8

下水・浄化槽管理業務、上下水・住宅設備
配水管・貯水槽清掃、仮設トイレレンタル
株式会社 石丸浄水センター
福知山市三和町千束639番地
TEL 0773-58-4141 FAX 0773-58-4161